

年月日

20  
02  
26

ページ

04

NO.

# グローバル 眼

中国内外に広がつてお  
り、終息の目処が立つて  
いない。そうした中、感  
染の更なる拡大を防ぐた  
めに、第5世代通信（5  
G）やビッグデータ分  
析、人工知能（AI）な  
どデジタル技術を駆使し  
た中国のテック企業の活  
躍に注目が集まつてい  
る。中国工業情報化省で

は2月初めにAI関連  
学会、協会および企業に  
対して、AIを生かした  
新型肺炎対策への協力を  
呼びかけたが、AI分野  
のリーディングカンパニーは既に動き出していく。  
具体的な例を挙げる  
と、北京に本社を置くA  
I企業は、最先端の顔認  
証技術をベースにしたA  
I検温サービスを新たに  
開発した。住宅街や商業  
施設の出入り口、交通機  
関など人の多い場所で導  
入され、3秒以内の測定  
距離で、1秒間に15人の  
通行者を検温できるとい  
う。発熱症状のある人と  
その身元を素早く特定す  
る。現在、中国では外出

## 新型肺炎 AI進化のトリガーに



中国は最先端技術  
の一つとしてAI  
の開発・応用に力  
を入れている（昨  
年8月29日、上海  
での「世界AIコ  
ンファレンス」）  
ブルームバーグ

る。

中国は、2017年夏に  
AI促進計画である「次  
世代AI発展計画」を公  
表した。30年までに中国  
のAI技術を世界最先端  
のレベルに引き上げ、A  
I関連産業を10兆元超  
（約160兆円、1元約  
16円で換算）の市場規模  
に拡大させる目標を明ら  
かにしている。以降、中  
國政府から地方政府まで  
多くの促進政策を打ち  
出しており、資金の投入  
や、人材の育成、企業支  
援などAIの発展を支え  
るエコシステムの形成に  
注力している。企業側で  
はさまざまな業界へのA  
Iの実装が模索され、中  
国ではAIブームが起き  
ていて、AIの活用範囲と可能  
性を広げ、AIが読み取り、感染の可  
能性を数分程度で判別で  
きる新機能を自社のAI  
診断システムに追加し  
た。感染者の増加に伴い  
多くの画像データが蓄積  
されており、AI学習が  
進化していると思われ

## 中国テック企業に注目

時にマスク着用が義務付  
けられているが、このサ  
ービスはマスクのままで  
健康プラットフォームを  
運営する企業などは、才  
能認証できる機能を強  
化し、識別の精度を高め  
ている。また、ICT大  
の解消に一役買つてい  
る。

AIによる画像診断も  
運営する企業などは、才  
能認証で使われ  
るようになっている。病  
気の早期診断など医療分  
野におけるAI活用に取  
組むスタートアップ企  
業は、肺のCT画像をA  
Iが読み取り、感染の可  
能性を数分程度で判別で  
きる新機能を自社のAI  
診断システムに追加し  
た。感染者の増加に伴い  
多くの画像データが蓄積  
されており、AI学習が  
進化していると思われ



趙 瑞琳  
伊藤忠総研  
産業調査センター